

科学映像アーカイブ製作のための調査の進め方

<課題>

- ・科学映画が失われようとしている：その状況の改善へ
- ・そのための基礎作業として、「科学映像アーカイブをどう作ってイけるか」の調査が必要
- ・次の 3 つの位相をうまく整理して、科学映像のアーカイブ化の方法を探る
 - ①アーカイブ事業一般の問題：日本の文化政策の立ち遅れと今後の見通し
 - ②映像アーカイブの問題：『映像アーカイブ・スタディーズ』で扱われている諸問題
 - ③科学映像アーカイブの問題：これを特化することの意義をふまえた固有の課題は何か
 - ★科学研究者自身（企業の研究者を含む）による研究動画作成の常態化のなかでの科学映画の意義の捉え直しが必要なのではないか

「科学と社会」のドキュメンタリー映像のアーカイブ作り

アーカイブ化に伴うタグ付け

<現時点で把握していること：これらを束ねて何らかの目録を整理することから始める？>

- ・国立映画アーカイブの「科学映画」「ドキュメンタリー」「短編映画」の目録
- ・「科学映像館」の作品目録
- ・『ドキュメンタリー映像集成』（映文連：公営法人映像文化製作者連盟）の目録
- ・記録映画保存センター（東京大学情報学環丹羽美之研究室）／記録映画アーカイブプロジェクト
- ・過去の種々の科学映画祭の上映・表彰作品目録
- ・いくつかの科学映画製作所（アイカムを含む）の末裔が所管している作品と目録
- ・『日本短編映像史』（吉原順平、岩波書店）に取り上げられている作品の一覧とその作品の所蔵先

★マップを作る

<海外との比較の観点から>

- ・『映像アーカイブ・スタディーズ』を手がかりに海外の事業事例から学べることを整理する
- ・科学映像に特化して、海外の取り組み事例を調査する：日本への適用の可否なども含めて

<方法>

- ・アーカイブ関連の実施機関、学術団体、研究者らに打診して、**研究計画書**を作成
 - できる限り、事前に面談して、状況を詳細に把握しつつ、申請書（研究計画）を作る
 - 助成金（※）を申請することを前提に調査チームを組む

※検討すべき申請先

・文化庁のサイトより <https://digitalarchivejapan.org/joho/josei/>

「デジタルアーカイブが対象となると思われる助成等」(20箇所)

ただし、文化・人文科学・社会科学を対象とする各種助成を紹介(科研費は除いて)(順不同)。

・公益財団法人 図書館振興財団 <https://toshokan.or.jp/promotion>

(3)図書館をはじめとする文化・教育資源保有施設が所有するコレクションの活用を推進する事業に対する助成

・一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

<http://www.watanabe-found.or.jp/topics/2025/0321-1.html>

「科学技術に関し、調査研究及びこれらの助成・奨励を行う ことにより、新技術の振興を図り、社会・経済の発展と福祉の増進に寄与することを目的として活動しています。」